

2026年度 JACセミナー（臨時開催）
2026年6月12日

【演題1】 グローバル認定協力機構 （Global ACI）について

日本認定機関協議会（JAC）

本講演の内容

1 Global ACI の概要紹介

- Global ACI とは
- 設立の目的
- 統合に至る経緯
- 役割
- 誰が参画できるか
- 情報の入手方法

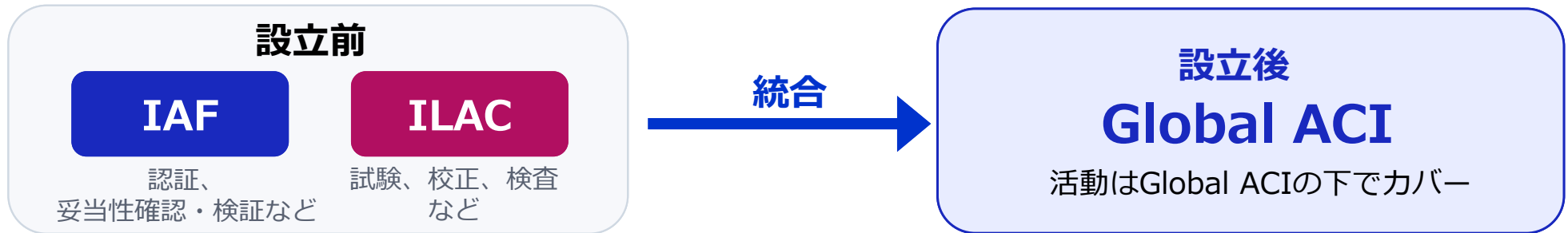
2 Global ACIの設立前後の変化

- 会員数
- 地域認定協力機構、ステークホルダーとの関係
- 認定の地位の継続性
- MRA（多角的承認取決め）の範囲

1 Global ACI の概要紹介

Global ACIとは？ 設立の目的

ポイント 国際認定フォーラム(IAF) と 国際試験所認定協力機構(ILAC)の役割を一つの国際認定協力機構に統合し、業務の合理化と世界的な認定実務の一貫性向上を支援するために設立されました。



Global Accreditation Cooperation Incorporated

略称: Global ACI

読み方: グローバル エーシーアイ

日本語名: グローバル認定協力機構

※ 本セミナーの資料では、「Global ACI」と表記します。

Global ACIの位置づけ

Global ACIは、試験所・校正機関、臨床検査室、認証機関、検査機関、技能試験提供者、妥当性確認・検証機関、標準物質生産者、バイオバンクの認定に関する国際的枠組みであり、認定機関・ステークホルダー・地域認定協力機構から構成されます。

Global ACI 発足までの流れ

ポイント

Global ACIは、IAF 及び ILAC の役割を引き継ぐ単一の国際認定協力機構として2026年1月1日に全面運用を開始しました。

2019



IAFとILACは、
単一の国際認定協力
機構の設立を決定

2024



定款・一般規則に合意
ニュージーランドで
法人登録（非営利団体）

2026年1月1日



全面運用を開始
IAF・ILACの役割を
引継ぎ

2026年4月14日



Global ACIの略称・
公式デジタルチャネル
を公表

Global ACIへの統合により解消を目指した課題は？

1 並立による複雑さ

IAFとILACという二つの国際組織が並立していたことで、ガバナンス、手続、文書、対外説明が複雑になっており、重複や分野間の一貫性確保が課題となっていました。

2 関係が不明瞭

特に、適合性評価機関（CAB）、規制当局、スキームオーナー、CABの結果利用者にとっては、IAF MLAとILAC MRAの関係や適用範囲が分かりにくい場合があります。

3 一貫性のある運営が必要

IAFとILACは、既存の国際相互承認の信頼性を維持しながら、組織・手続・方針をより一貫した形で運営することを目指す必要がありました。

なぜGlobal ACIに統合できたのか？

1 基本的な仕組みは共通していた

IAFは認証や妥当性確認・検証の国際相互承認であるIAF MLAを、ILACは主に試験・校正・検査・臨床検査などの国際相互承認であるILAC MRAを運営してきましたが、両組織ともISO/IEC 17011 に基づいて認定機関の能力を同等性評価により確認し、その結果に基づいて認定結果の国際的な相互承認を行うという基本的な仕組みは共通していました。

2 従来から協働していた

合同総会・委員会、共通文書などを通じて連携しており、統合の前提となる協働の実績がありました。

3 地域レベルでは既に統合されていた

地域認定協力機構においては、統合による一体運営の実績がありました。たとえば、アジア・太平洋地域のAPACは、認証機関認定系のPACと試験所認定系のAPLACが統合して設立されており、認定スキームをまたぐ一つの地域組織として運営されている実績がありました。

統合により

Global ACIの発足により、国際的な認定の仕組みはより統合的で分かりやすい体制へ移行しました。CAB、規制当局、スキームオーナー、制度利用者などの関係者にとっては、これまでの認定結果の信頼性を維持しつつ、より一貫性のある国際認定制度の利用が期待できます。

Global ACI の役割

1 Global ACI MRA の維持・拡大

認定機関メンバー間の
Global ACI MRA（多角的承認
取決め）を維持・拡大し、
認定された認証文書、声明
書又は報告書が世界中のど
こにおいても信頼できるこ
とを保証する。

2 認定実務の調和

世界中の認定実務の開発・
調和を行う。

3 認定の普及・促進

物品・サービスへの信頼を
提供する効果的なメカニズ
ムとして認定を促進し、国
際貿易の円滑化を支える。

ポイント

Global ACIは、認定機関及び関連するステークホルダーや地域認定協力機構から構成されるグ
ローバルネットワーク。

認定機関間のMRAを通じて、国際的な信頼の枠組みを構築しています。

Global ACI が直接は行わないこと



CABの審査・認定

Global ACI自体が、CABを審査し、認定することはありません。



認証文書・声明書・報告書の発行

Global ACI自体が、試験、校正、検査、認証、妥当性確認・検証などの適合性評価活動を実施することはなく、認証文書などの発行も行いません。



各国政府・規制当局への直接的な働きかけ

特定の経済地域の政府・規制当局との関係構築は、通常、その経済地域のGlobal ACIメンバーである認定機関が行います。

Global ACI 参画会員

Global ACIの会員カテゴリーは次の4つに分かれています。

正会員 (Full Member)

Global ACI MRA署名者として受け入れられた認定機関。

準会員 (Associate Member)

まだMRA署名者ではないが、ISO/IEC 17011 及びGlobal ACIの当該会員要件への適合を自己宣言する認定機関。

ステークホルダー会員 (Stakeholder Member)

CAB団体、利用者団体、標準化機関、計量標準機関、規制当局、スキームオーナーなど。

地域認定協力機構会員 (Regional Cooperation Body Member)

同等性評価 (Peer Evaluation) に基づく多角的/相互承認を維持する地域認定協力機構。

注記

個人及び個別のCABはGlobal ACIの会員にはなれません。
ただし、ステークホルダー会員のいずれかの団体に参加できる場合があります。

現在の加盟状況

Global ACI公式サイトでの公表に基づく各カテゴリー別会員数（2026年5月31日時点）

126

正会員

14

準会員

50

ステークホルダー
会員

6

地域認定協力機構
会員

各会員については、Global ACIのウェブサイト>Members で確認できます。
<https://global-aci.org/en/full-members/>

ポイント

- JACメンバー機関である日本の5つの認定機関は全て、正会員として加盟しています。
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構 適合性評価推進センター認定センター (IAJapan)
 - 一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター (ISMS-AC)
 - 公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB)
 - 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 認定センター (JASaff)
 - 株式会社電磁環境試験所認定センター (VLAC)

Global ACI に関する情報の入手方法

公式サイト <https://global-aci.org/>

FAQ、文書類、MRA署名機関、メディアセンター など



CertSearch



in



Login

Home

About

Members

Global ACI MRA

MRA Signatories

Publications

Media Centre

FAQ

Contact Us

About the Global ACI MRA

Global ACI FAQ

Global ACI のウェブサイトでは、関係者向けにFAQとして一般的な情報が公開されています。
<https://global-aci.org/en/faq/>

関係者	確認ポイント
CAB	MRAマーク使用許可・切替時期・IAF MLA/ ILAC MRAマークの扱いなど
行政機関・規制当局	適合性評価結果の受入れ枠組みと国内法・規制上の実装など
スキームオーナー	Global ACIへの参画・文書・スコープ・エンドースドスキームなど
産業界・消費者	CAB・認定機関・MRA署名者・スコープ・市場要求など

注：各国／地域や各認定機関に関する情報は、各当局・各認定機関からの通知や公表情報をご確認ください。

Global ACI ソーシャルメディア

ソーシャルメディアなど

LinkedIn : <https://www.linkedin.com/company/globalaci/>
X : https://x.com/Global_ACI
Bluesky : <https://bsky.app/profile/global-aci.bsky.social>
YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCOBEq7Xvy7cS37qgAF46VrA>
Newsletter : <https://www.global-aci.org/en/newsletter>

ポイント

各情報は適宜更新されます。
公式ページなどの最新情報や、認定機関からの通知をご確認ください。

2 Global ACI の設立前後の変化

IAF、ILACの各会員数との変化は？

IAF（移行前）

- 99 AB Members (90 MLA signatories)
- 33 Association Members
- 6 Regional Accreditation Groups

ILAC（2025年10月15日時点）

- 121 Full Members
- 15 Associates
- 23 Stakeholders
- 6 Regional Cooperation Bodies

Global ACI（2026年5月31日時点）

- 126 Full Members
- 14 Associate Members
- 50 Stakeholder Members
- 6 Regional Cooperation Body Members

注）今後も順次、会員が増える可能性があります。

整理

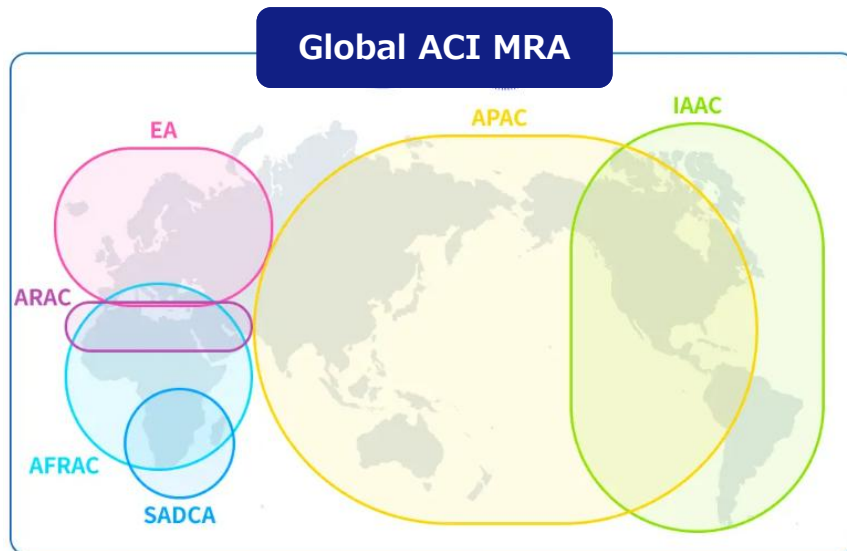
IAF、ILAC、Global ACIでは、カテゴリーが完全には一致しません。
赤文字：認定機関 / 青文字：ステークホルダー / 黒文字：地域認定協力機構

地域協力機関・ステークホルダーとの関係の変化は？

6つの地域認定協力機構

各地域認定協力機構のMLA/MRAは、Global ACI MRAの基盤として、引き続き重要な位置付けにあります。

※ 各地域認定協力機構は、Global ACIにより4年ごとに評価されます。



ステークホルダー会員の構成

IAF Association Members と ILAC Stakeholders の両方を包摂した形。今後、Global ACI ステークホルダー会員として、従来のIAF/ILACの境界をまたぐ組織の加盟が増える可能性があります

- IAF Association Members
➡ 約9割（30/33組織）が加盟済
- ILAC Stakeholders
➡ 約8割（18/23組織）が加盟済
- Global ACI として運用開始後
➡ 新たに4組織が加盟済

APAC（太平洋認定協力機構）との関係は？

1 APACとGlobal ACIの関係性

APAC（Asia Pacific Accreditation Cooperation）は、アジア・太平洋地域の地域認定協力機構であり、Global ACIはその上位に位置する国際認定協力機構です。APACは地域レベルの相互承認活動を担い（APAC MRA）、Global ACIは世界レベルの多角的承認取決め（Global ACI MRA）を構築しています。

2 Global ACI 発足によりAPACの役割や機能に変化はあった？

Global ACIの発足により、APACの「上位組織」が IAF/ILAC から Global ACI に変わりましたが、APACが担う地域認定協力機構としての役割や機能に本質的な変更はありません。

ポイント

APAC MRAは地域レベルの信頼の基盤、Global ACI MRAはその成果を世界レベルで通用させるための枠組みです。

その構造は、従来の IAF MLA/ILAC MRA と実質的に同じです。

IAF、ILACにおける認定の地位は引き継がれている？

ポイント

IAF MLA及びILAC MRAの、認定機関間の同等性を相互に認める仕組みは、Global ACI MRAの多角的承認取決めにおいても継承されています。

従来の枠組み

IAF MLA / ILAC MRA

移行

Global ACIへ役割引継ぎ

新枠組み

Global ACI MRA

連続性

IAF MLA及びILAC MRAの下で認められていた認定の地位は、Global ACI MRAへの移行後も引き続き国際的に承認されます。

ただし

Global ACI MRAは、各国／経済地域の法令や規制要求を改正又は無効にするものではありません。
➡法令や規制要求、調達要件、スキーム文書などにおける「IAF MLA」「ILAC MRA」への言及を、「Global ACI MRA（グローバル認定協力機構の多角的承認取決め）」に順次更新をお願いします。

“accredited once, accepted everywhere” はGlobal ACI MRAの長期的な目標ですが、各市場での受入れは、法令・規制・指定基準にも依存します。

なお、認定審査などで認定基準類の一部として使用してきたIAF/ILAC文書も順次、Global ACI文書に変更されるため、それに応じて今後、認定機関の認定基準類や手順などの改定も発生します。

Global ACI MRAの対象範囲

Global ACI MRAの対象範囲は、メインスコープとサブスコープで構成されています。
ここでは、メインスコープを認定規格と併せて示しています。

旧IAF-MLA対象

- 1** Management System Certification (ISO/IEC 17021-1)
- 2** Certification of Persons (ISO/IEC 17024)
- 3** Product Certification (ISO/IEC 17065)
- 4** Validation and Verification (ISO/IEC 17029)

旧ILAC-MRA対象

- 5** Testing (ISO/IEC 17025)
- 6** Medical testing (ISO 15189)
- 7** Calibration (ISO/IEC 17025)
- 8** Inspection (ISO/IEC 17020)
- 9** Proficiency Testing Provision (ISO/IEC 17043)
- 10** Reference Material Production (ISO 17034)
- 11** Biobanking (ISO 20387)

注: サブスコープには、分野別の固有規格などが該当する場合があります。
詳細は、Global ACIウェブサイトで確認できます。 <https://global-aci.org/en/scopes/>

参照先

Global ACI	https://global-aci.org/en/home/
About Global ACI	https://global-aci.org/en/about-global-aci/
About Global ACI Members	https://global-aci.org/en/full-members/
Global ACI FAQ	https://global-aci.org/en/faq/
Global ACI MRA Scopes	https://global-aci.org/en/scopes/

ご清聴ありがとうございました。